

## 花

ソ  
ン  
シ  
ヨ  
ウ  
イ  
ク

花よ 暖かい日に咲け

眩しく咲け

啼鳥の囀りに囲まれて咲け

巡り行く世界がまた息吹く

その始まりの合図を 万物に示せ

花よ 華やかに咲け

そして天覚め 地覚め 人も覚め

名のなき春を迎え

花よ 冷たい日に咲け

清く咲け

凍えた枝を彩って屈強に咲け

蒼白過ぎる雪景色を誇る

凜とする幽香を 行く人に届け

花よ 華やかに咲け

去るものを弔うため

咲け 咲け 乱れ咲け

○

朝焼けに身を隠して現れ

夜霧と共にまた消え

土に落ちた君は

灰と塵になるだけ

艷麗の姿が時間に掻き消され  
芬芳も腐臭になり変え  
魂すら沸騰する暑さに漂ったのは  
深い哀れみだけ

今年は新しい公園を訪ね  
そこに新しい花がまた咲いて  
去年と同じなのは  
花を見ている私だけ

私が花を見送って  
されど私を見送るものは誰  
それを知らずに  
花はただ咲くだけ

萩原朔太郎「竹」に寄せて